

各位

静岡県資源環境技術研究会
静岡県工業技術研究所

令和7年度 水処理技術セミナー ～PFAS 汚染問題を正しく理解するために～

今回は、低濃度でも健康へのリスクが指摘されている PFAS（ペル・ポリフルオロアルキル物質）を取り上げます。具体的には、①健康へのリスク、②静岡県内における検出の状況、③静岡発の除去システムの社会実装に向けたビジネス展開について、産学官各分野の研究者および経営者に御講演いただくことで、PFAS 汚染問題について正しく理解することを目的としています。関心のある技術者および経営者の皆様の御参加をお待ちしております。

- 1 日時 令和8年1月14日（水） 午後1時30分～午後5時（午後1時から受付開始）
- 2 開催方式 対面および Web 会議システムによる配信（可能な限り現地にお越しください）
- 3 会場 静岡県工業技術研究所 講堂（静岡市葵区牧ヶ谷 2078 番地）

4 内容

講演1 午後1時35分～午後2時35分

「PFAS 汚染問題の経緯と現状、健康へのリスク」

京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授 原田 浩二 氏

【講演概要】

PFAS は、高度にフッ素化された人工有機化合物です。泡消火薬剤、フッ素樹脂製造に使用され、いくつかの化合物は有害性が指摘されてきました。新規の製造は規制されましたが、数十年間使用されてきたなかで、環境汚染を引き起こし、特に土壌汚染、地下水汚染により水源を汚染することが問題となっています。2020 年に公共用水域、水道水への目標値が設定されて以降、各地での汚染が判明してきました。今回はその経緯と動向、健康リスクの理解などを解説します。

講演2 午後2時45分～午後3時45分

「静岡県内における PFAS を取り巻く状況等について」

静岡県環境衛生科学研究所 環境科学部 環境科学班 主査 長倉 美由紀 氏

【講演概要】

近年、全国各地で PFAS の検出事例が報告されており、静岡県内において河川や地下水で高濃度の PFAS が確認されています。PFAS の健康影響が懸念されていることを受けて、国は対策やリスク管理に関する検討を進めてきました。本セミナーでは、PFAS を巡る法制度の背景や最新の規制動向を概説するとともに、静岡県の実施した環境実態調査を中心に県内の PFAS の存在状況についてご説明します。

講演3 午後3時55分～午後4時25分

「静岡発！PFAS 除去システムの社会実装に向けたビジネス展開について」

駿河 GX テクノロジー株式会社 代表取締役 青山 慧 氏

【講演概要】

当社は、昨年度静岡市の出資を受け、同市内の PFAS 汚染水現場に日量約200トンの処理装置を設置し、除去に向けた実証実験を行ってきました。数ヶ月にわたる改善の結果、平均除去率 97%を達成しています。本講演では、実証内容に加え、回収した PFAS の無害化に関する現在の検証状況や、総合的な PFAS 除去システムの社会実装に向けたビジネス展開をご紹介します。

見学会 午後 4 時 30 分～午後 5 時

講演終了後、希望者には工業技術研究所 環境エネルギー科の設備見学(ICP 発光分光分析装置・イオンクロマトグラフ・全有機体炭素/全窒素計ほか)を実施します。

5 定員／参加費 50 名(オンライン含め)／無料

6 申込方法

ふじのくに電子申請サービスからお申し込みください。

(利用者登録せずに申込みフォームへお進みいただくことも可能です)

https://apply.e-tumo.jp/pref-shizuoka-u/offer/offerList_detail?tempSeq=18869

※ご登録いただいた個人情報は連絡や情報提供、事務処理に利用します。

※出席者名簿は講演者に提供します。



7 申込締切 令和8年1月9日(金)午後5時

8 問合せ先

事務局担当:静岡県工業技術研究所 環境エネルギー科 岡本

電話: 054-278-3026 / E-mail: sk-kankyous@pref.shizuoka.lg.jp